

様式第7号ア（認定を受けようとする課程を有する大学・学科等における教員養成の目標等に関する書類）

(1) 大学・学科の設置理念

①大学

福岡国際音楽大学（以下「本学」という。）の設立母体である学校法人高木学園（以下「当法人」という。）は、現在、福岡国際医療福祉大学（福岡県福岡市）、柳川リハビリテーション学院（福岡県柳川市）、大川看護福祉専門学校（福岡県大川市）、福岡医療経営学院（福岡県福岡市）の医療系の1大学、3専門学校を有している。当法人が属する国際医療福祉大学・高邦会グループは、「共に生きる社会」の実現を目指した「人間中心の大学」「社会に開かれた大学」「国際性を目指した大学」という大学の理念と、高邦会の理念である「生命の尊厳、生命の平等」を共通理念として、グループとしてのアイデンティティを共有している。

本学は、当グループの理念を踏まえ「すべての人に音楽を。互いに認め合って暮らせる『共に生きる社会』のために。」を建学の精神とする。この精神の下、音楽に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、音楽に関する指導者とその専門従事者を養成するとともに、音楽と社会を多眼的に捉え、音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の発展に貢献する有能な人材を養成することを目的とする。そして、身につけた教養と技術を活かして、九州地域ひいては我が国の音楽文化の発展に寄与し、アジアの音楽水準の底上げに資する音楽家及び音楽を取り巻く産業をけん引する実務家の養成を目指す。

本学が養成する具体的な人材像は次のとおりである。

1. 音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の発展に貢献できる高い専門性を有した人材
2. 音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の変化と高度化に対応できる人材
3. 国際社会で活躍できる総合的な実践力、コミュニケーション力を持った人材
4. 時代のニーズに適合し、地域の文化や産業の発展に貢献できる実践力のある人材

本学には音楽学部音楽学科を置き、さらにその下に「音楽表現専攻」及び「音楽ビジネス専攻」の2つの専攻を配置して、上記人材の養成を図る。

②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

音楽学部音楽学科

本学は1学部1学科構成の大学であるため、学科としての理念は、大学としての理念と同一であり、本学の設置母体である当法人が属する国際医療福祉大学・高邦会グループの「共に生きる社会」の実現を目指した「人間中心の大学」「社会に開かれた大学」「国際性を目指した大学」という大学の理念と、高邦会の理念である「生命の尊厳、生命の平等」を共通理念として、グループとしてのアイデンティティを共有している。本学科は、当グループの理念を踏まえ「すべての人に音楽を。互いに認め合って暮らせる『共に生きる社会』のために。」を建学の精神とする。この精神の下、音楽に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養及び総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、音楽に関する指導者とその専門従事者を養成するとともに、音楽と社会を多眼的に捉え、音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の発展に貢献する有能な人材を養成することを目的とする。そして、身につけた教養と技術を活かして、九州地域ひいては我が国の音楽文化の発展に寄与し、アジアの音楽水準の底上げに資

する音楽家及び音楽を取り巻く産業をけん引する実務家の養成を目指す。

本学科が養成する具体的な人材像は次のとおりである。

1. 音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の発展に貢献できる高い専門性を有した人材
2. 音楽と音楽を取り巻く文化・社会・医療・福祉・産業の変化と高度化に対応できる人材
3. 国際社会で活躍できる総合的な実践力、コミュニケーション力を持った人材
4. 時代のニーズに適合し、地域の文化や産業の発展に貢献できる実践力のある人材

本学には音楽学部音楽学科を置き、さらにその下に「音楽表現専攻」及び「音楽ビジネス専攻」の2つの専攻を配置して、上記人材の養成を図る。

## (2) 教員養成の目標・計画

### ①大学

本学教職課程においては、設置理念に基づき、社会及び学校教育における諸課題に適切に対処できる総合的な思考力・判断力を身に付け、創造的な資質・能力をもつ教員の養成を目標とする。「すべての人に音楽を。互いに認め合って暮らせる『共に生きる社会』のために。」の建学の精神を踏まえ、中学校及び高等学校の音楽科の授業をとおして、国際社会に生きる日本人として自他の音楽文化を尊重し、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度をはぐくむことができる教員の養成を行うこととしている。

また、教職課程のコアカリキュラムを中心としながら、音楽の高い専門性を修得できるよう音楽の理論及び知識と技能に関わる多様な音楽専門科目を配置している。併せて、教育実践に関する実習科目とともに、教育現場における実践的な能力の向上を図るため、地域の中学校等における体験学習や、ボランティア活動をとおして教師に求められる資質と能力の向上を継続的に図る機会を設けている。

さらに、総合科目においては、音楽と社会を多眼的に捉え、高い専門性をもって社会に貢献する有能な人材を養成するという理念に基づき、音楽と社会のつながりや、音楽による社会貢献に関わる科目を配置している。

### ②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

音楽学部音楽学科においては、音楽に関する幅広い教養、豊かな感性と高度な技術を涵養しそれをもって社会課題の解決に寄与する人材の育成を目指している。

音楽による表現や、楽曲制作などによる創作から自己の表現のみならず他者との協働による表現と創造のプロセスを学び、音楽のマネジメントなどを含む多角的な視点から学修する。

これらの体系的な学びをとおして音楽の専門性の向上を図るとともに、コミュニケーション力、他者と共感する力、論理的な思考と分析する力などの総合的な力をもつ人材育成を重視している。また、芸術活動のみならず教育活動や、地域社会における活動に意欲的に参画し、社会の諸課題を解決する力をもつ教員養成を目標としている。

## (3) 認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科等ごとに校種・免許教科別に記載）

### 中学校一種免許状（音楽）

音楽学科においては、音楽に関する幅広い教養、豊かな感性と高度な技術を涵養しそれをもって社会課題の解決に寄与する専門性と総合的な力をもつ人材の育成を目指し、社会や中学校における諸課題の解決や、地域社会との連携による深い学びとしての教育実践を行うことができる教

員の養成を目標としている。

高等学校一種免許状（音楽）

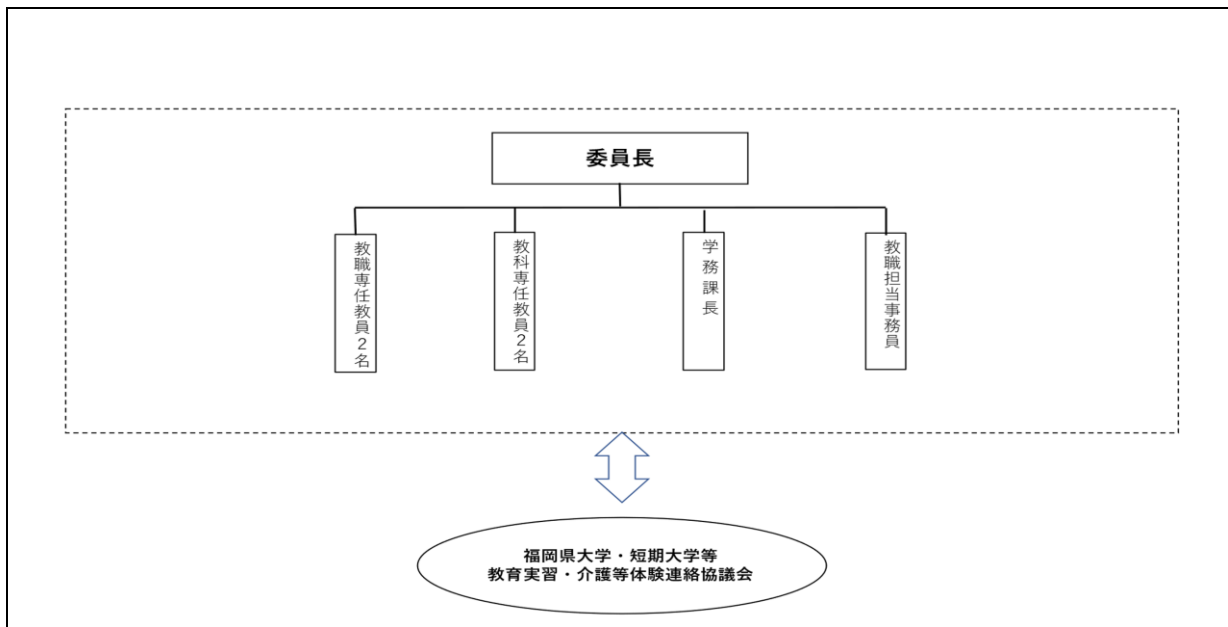
音楽学科においては、音楽に関する幅広い教養、豊かな感性と高度な技術を涵養しそれをもって社会課題の解決に寄与する専門性と総合的な力をもつ人材の育成を目指し、社会や高等学校における諸課題の解決や、地域社会との連携による深い学びとしての教育実践を行うことができる教員の養成を目標としている。

## I. 教職課程の運営に係る全学的組織及び各学科等の組織の状況

## (1) 各組織の概要

組織名称：	福岡国際音楽大学教職課程（教職課程委員会）
目的：	中学校・高等学校（音楽）の教員養成
責任者：	教職課程委員会委員長
構成員（役職・人数）：	委員長（教授・1名）、委員（教職専任教員・2名、教科専任教員・2名）、 教職担当事務員（1名）
運営方法：	教職課程委員会は、委員長及び委員（教職専任教員、教科専任教員）、教職担当事務員により構成する。委員会は、委員長のもと、定期的に委員会を開催し、教職課程全般（実習、ボランティア活動等を含む）の運営と教職課程を履修する学生の指導を行う。

## (2) (1) で記載した個々の組織の関係図



## II. 都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力に関する取組

## (1) 教育委員会との人事交流・学校現場の意見聴取等

太宰府市教育委員会及び太宰府市内の中学校及び県内の高等学校における交流事業の実施及び教育活動を通じた意見聴取の実施。

## (2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

取組名称：	1.吹奏楽部の指導（ボランティア活動） 2.学習支援活動（ボランティア活動） 3.講義における体験学習
連携先との調整方法：	教職担当教員及び教職課程専門委員会と中学校校長及び担当教諭による連絡調整
具体的な内容：	1.吹奏楽部の指導 吹奏楽部に所属する生徒に対して音楽を専門に学ぶ学生がアドバイス等を行う。 2.学習支援活

様式第7号イ

宿題や課題の学習においてアドバイスを行う。

3.講義における体験学習

教職課程の講義において中学校及び高等学校の音楽を担当する教諭などが実践的な視点から教師を目指す学生に対して講義を行う。

Ⅲ. 教職指導の状況

教職担当教員及び教職課程専門委員の教員が教職課程の講義及び実習、体験活動、ボランティア活動等全般の指導を行う。また、音楽専門科目を担当する教員との連携により、教師に求められる音楽の専門的知識と技能の向上を図るよう組織的に教職指導を行う。

## 様式第7号ウ

&lt;音楽学科&gt;(認定課程: 中一種)

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念、教育の歴史や思想を学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> <li>・教職全般に必要な基礎的な知識及び技術を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の学校教育に関する社会的、経営的事項について、基礎的な知識と、それらに関連する課題を理解し、学校と地域との連携及び学校安全への対応に関する基礎的な知識も身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> <li>・教職全般に必要な基礎的な知識及び技術を修得する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領を基準とする教育課程の意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。</li> <li>・発達障害、知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする生徒が生きる力を身に付け個別の教育的ニーズに対して、組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。</li> <li>・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)、情報機器及び教材の活用に関する知識・技能を身に付ける。</li> <li>・学習指導要領「音楽」をもとに教科の指導法の基礎的な知識や技能を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の意義や原理等をふまえ、教育活動全体を通じて行う道徳教育及び目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。</li> <li>・生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。</li> <li>・学習指導要領「音楽」の理解に基づいた適切な学習指導案の作成及び授業計画を作成できるようになる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」、「チームとしての学校」の視点から、特別活動における各教科等との関連、地域住民等と連携した組織的な対応等の知識や素養を身に付ける。</li> <li>・生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を行うために必要な知識・技能や素養を身に付ける。</li> <li>・音楽の授業における基礎的な知識や指導技術を生かし、教材研究、模擬授業を通してICT機器の活用を含む実践的な指導法を修得する。</li> <li>・教育実習の目的及び内容、実習に臨む心構えや、実習生としてふさわしい行動や発言、生徒対応などが理解できる。</li> <li>・教育現場における実習に必要とされる教師に必要な資質・能力について理解し、その能力を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、専門的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬授業、教材研究等を通して、さらなる実践的指導力を身に付け、情報機器や教材の効果的な活用法を実際の指導に生かせるよう資質・能力の一層の向上を目的とする。</li> <li>・教育実習の目的及び内容、実習に臨む心構えや、実習生としてふさわしい行動や発言、生徒対応などが理解できる。</li> <li>・教育現場における実習に必要とされる教師に必要な資質・能力について理解し、その能力を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、専門的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>

4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達状況に応じて、心理的特質や教育的課題を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。</li> <li>・現代の学校教育に関する制度的、経営的事項について、基礎的な知識を身に付ける。</li> <li>・中学校における実習を通して、教師に必要な資質・能力について理解し、指導案に沿った適切な授業、状況に応じた生徒指導、教師としての自覚を持ち、正しく行動することができる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、より高度な専門性を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。また、教育実習を通して得られた経験と課題を客観的に捉えることができる。</li> <li>・中学校における実習を通して、教師に必要な資質・能力について理解し、指導案に沿った適切な授業、状況に応じた生徒指導、教師としての自覚を持ち、正しく行動することができる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、より高度な専門性を修得する。</li> </ul>

## 様式第7号ウ

&lt;音楽学科&gt;(認定課程:高一種)

## (1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念、教育の歴史や思想を学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> <li>・教職全般に必要な基礎的な知識及び技術を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の学校教育に関する社会的、経営的事項について、基礎的な知識と、それらに関連する課題を理解し、学校と地域との連携及び学校安全への対応に関する基礎的な知識も身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> <li>・教職全般に必要な基礎的な知識及び技術を修得する。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領を基準とする教育課程の意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。</li> <li>・発達障害、知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする生徒が生きる力を身に付け個別の教育的ニーズに対して、組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。</li> <li>・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。</li> <li>・学習指導要領「音楽」をもとに教科の指導法の基礎的な知識や技能を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の意義や原理等をふまえ、教育活動全体を通じて行う道徳教育及び目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。</li> <li>・生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。</li> <li>・学習指導要領「音楽」の理解に基づいた適切な学習指導案の作成及び授業計画を作成できるようになる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、教員に求められる基礎的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」「チームとしての学校」の視点から、特別活動における各教科等との関連、地域住民等と連携した組織的な対応等の知識や素養を身に付ける。</li> <li>・生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を行うために必要な知識・技能や素養を身に付ける。</li> <li>・音楽の授業における基礎的な知識や指導技術を生かし、教材研究、模擬授業を通してICT機器の活用を含む実践的な指導法を修得する。</li> <li>・教育実習の目的及び内容、実習に臨む心構えや、実習生としてふさわしい行動や発言、生徒対応などが理解できる。</li> <li>・教育現場における実習に必要とされる教師に必要な資質・能力について理解し、その能力を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、専門的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬授業、教材研究等を通して、さらなる実践的な指導力を身に付け、情報機器や教材の効果的な活用法を実際の指導に生かせるよう資質・能力の一層の向上を目的とする。</li> <li>・教育実習の目的及び内容、実習に臨む心構えや、実習生としてふさわしい行動や発言、生徒対応などが理解できる。</li> <li>・教育現場における実習に必要とされる教師に必要な資質・能力について理解し、その能力を身に付ける。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、専門的な音楽の知識及び技能を修得する。</li> </ul>

4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達状況に応じて、心理的特質や教育的課題を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。</li> <li>・現代の学校教育に関する制度的、経営的事項について、基礎的な知識を身に付ける。</li> <li>・高等学校における実習を通して、教師に必要な資質・能力について理解し、指導案に沿った適切な授業、状況に応じた生徒指導、教師としての自覚を持ち、正しく行動することができる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、より高度な専門性を修得する。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。また、教育実習を通して得られた経験と課題を客観的に捉えることができる。</li> <li>・高等学校における実習を通して、教師に必要な資質・能力について理解し、指導案に沿った適切な授業、状況に応じた生徒指導、教師としての自覚を持ち、正しく行動することができる。</li> <li>・教科に関する専門的事項として、より高度な専門性を修得する。</li> </ul>

様式第7号ウ（教諭）

&lt;音楽学科&gt;（認定課程：中一種）

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称				
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期					
1年次	前期	教育原理	ソルフェージュⅠ		日本国憲法	
			合唱Ⅰ		生涯体育理論と実践1	
			副科実技Ⅰ（声楽）		英語コミュニケーションⅠ	
			ピアノ実技Ⅰ		デジタルスキルA	
			合奏			
			指揮法Ⅰ			
			和声Ⅰ			
			西洋音楽史1			
	後期	教師論	ソルフェージュⅡ			
			合唱Ⅱ		生涯体育理論と実践2	
			副科実技Ⅱ（声楽）		英語コミュニケーションⅡ	
			ピアノ実技Ⅱ		デジタルスキルB	
			指揮法Ⅱ			
		和声Ⅱ				
		西洋音楽史2				
2年次	前期	特別支援教育概論	合唱Ⅲ			
		教育課程概論	日本伝統音楽演習			
		教育の方法及び技術	日本音楽概論			
		音楽科指導法Ⅰ				
	後期	道徳教育指導論	合唱Ⅳ			
		教育心理	作曲法			
音楽科指導法Ⅱ		世界音楽概論				

3年次	前期	特別活動および総合的な学習の時間の指導法	伴奏法 I			
		生徒・進路指導論				
		音楽科指導法Ⅲ				
		教育実習 I				
	後期	音楽科指導法Ⅳ				
		教育実習 I				
4年次	前期	教育行政				
		教育相談概論				
		教育実習 II				
		教育実習 III				
	後期	教育実習 II				
		教育実習 III				
		教職実践演習				

様式第7号ウ（教諭）

＜音楽学科＞（認定課程：高一種）

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称					
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期						
1年次	前期	教育原理	ソルフェージュⅠ		日本国憲法		
			合唱Ⅰ		生涯体育理論と実践Ⅰ		
			副科実技Ⅰ(声楽)		英語コミュニケーションⅠ		
			ピアノ実技Ⅰ		デジタルスキルA		
			合奏				
			指揮法Ⅰ				
			和声Ⅰ				
			西洋音楽史1				
		後期	教師論	ソルフェージュⅡ		生涯体育理論と実践2	
			合唱Ⅱ		英語コミュニケーションⅡ		
			副科実技Ⅱ(声楽)		デジタルスキルB		
			ピアノ実技Ⅱ				
			指揮法Ⅱ				
	和声Ⅱ						
		西洋音楽史2					
2年次	前期	特別支援教育概論	合唱Ⅲ				
		教育課程概論	日本伝統音楽演習				
		教育の方法及び技術	日本音楽概論				
		音楽科指導法Ⅰ					
	後期	教育心理	合唱Ⅳ	道徳教育指導論			
		音楽科指導法Ⅱ	作曲法				
			世界音楽概論				

3年次	前期	特別活動および総合的な学習の時間の指導法	伴奏法 I			
		生徒・進路指導論				
		音楽科指導法Ⅲ				
		教育実習 I				
	後期	音楽科指導法Ⅳ				
		教育実習 I				
4年次	前期	教育実習Ⅱ				
		教育行政				
		教育相談概論				
	後期	教育実習Ⅱ				
		教職実践演習				